

安全対策連絡協議会資料（要点）

1 当地における邦人犯罪被害について

(1) 邦人犯罪被害件数（平成27年1月～9月現在…計61件）

(2) 邦人犯罪被害に対する当館の取り組みについて

国家警察に対する申し入れ、HPや情報誌への掲載等による注意喚起を行っている。

(3) 邦人犯罪被害別発生状況（61件中）

ア ひったくり28件（うち旅券被害19件）

○ 26件がプノンペン都内で発生しており、徒歩中（16件）及びトゥクトゥクに乗車中（10件）における被害が特に多い。犯人はバイクに乗って犯行を行うことがほとんどである。

イ いかさまカード賭博詐欺14件

○ 短期渡航者（13人）の被害が多く、いわゆるプノンペン都内の観光地で被疑者に声を掛けられるケースが多い。高額被害額としては15,000ドル及び10,000ドルがある。

ウ 侵入盗7件

○ 全てプノンペン都で発生しており、在室中の被害も3件発生している。

エ その他、置き引き6件、すり4件、強盗（昏睡強盗）1件、恐喝1件も発生

(4) 犯罪被害防止対策

ア 路上・店内犯罪（強盗、ひったくり、すり、置き引き）被害防止対策

○ 外を歩く際は可能な限り両手を自由にしておく。バッグ本体を車道側に下げない。不必要な貴重品や現金を持ち歩かない。乗車中もひったくりに気を付けて気を抜かない。

イ 侵入盗被害防止対策

○ 鍵を2個以上備え、外出・就寝時は確実に施錠し、貴重品を放置したままにしない。

ウ いかさま賭博防止対策

○ 知り合った人物に安易に連絡先や滞在先を教えない。安易についていかない。

(5) けん銃やナイフ等の凶器を使用した強盗犯人に遭遇した場合は絶対に抵抗しない。

2 渡航情報の改称及び危険情報表現の変更について（本年9月1日より）

(1) 渡航情報の改称の変更

HPの表記を以前の「渡航情報」から「海外安全情報」に改めた。

(2) 危険情報表現の変更

それぞれのカテゴリーにレベルを表す数字（レベル1～レベル4）を付記した。

(3) 危険情報変更後の表記

「レベル1：十分注意してください。」「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」

「レベル3：渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」

「レベル4：退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」

(4) 当国（カンボジア）の危険情報について（平成27年10月6日現在）

○ カンボジア全土「レベル1：十分注意してください。」

3 バングラデシュにおける邦人殺害事件の発生に伴う注意喚起について

(1) 当地においては、宗教的対立を背景としたテロ事件の発生は確認されていないが、観光地等がテロの標的とされて日本人が巻き添えになる可能性は排除できない

(2) 皆様への依頼事項（誘拐・脅迫対策）

○ 日頃から、当館HP、外務省HPやマスメディアを通じて関連情報の入手に努める。

○ 自分の周囲に不審な点がないか兆候の発見に努める。

○ 個人の対策、企業の対策、家族への対策等、状況に応じた対策を講じる。

○ 誘拐事案が疑われる場合は、早い段階で警察や当館へ連絡をする。